

680. Hegel / 微分論

渡辺 市郎 (廣島女專)

Hegel の大論理学、序文、中、先づ思辨哲學、殿堂が Kant / タメ = 廢墟、如ク = 破壊サレテシマッタコトヲ悲シミト怒リノ語調ヲ以テ烈ク論ジテ居ル。コレガケデモ吾々ハ Hegel / Kant = 対スル立場ノ相異ヲ察知スルコトが出来ル。

周知ノ如ク = Kant ハ Hume ノ 懷疑論ヲ 超克スベ
ク 絶對不可疑ヲ 誇ル 数学トイフ レツノ 科学ヲ トツテ 其ノ 認識
産出ノ 可能根據ヲ 分析シ出シタ。

ソシテ エノ 数学ガ 諸學ノ 典型ナル所カラ、ソレニ 依ッ
テ 得ラレタ 認識ノ 可能根據ハ 認識一般ノ 可能根據トサレタ。
所ガ コノ Kant ノ 認識論哲學ハ 「悟性ハ 經驗ヲ 超ヘルコト
ヲ 許サレヌモノデ、若シコレヲ 敢テスルトキハ 認識能力ハ 單
ニ 妄想以外ノモノヲ 産ムコトナキ 理論理性トナリ終ル」コト
ヲ 強調シテ、感性的認識ナラヌ 概念的認識即チ 思辨的思惟
ヲ 學問的立場カラ 全ク一掃シテシマツタ。

Kant = ヨツテ 妄想以外ニ 産ムコトナキモノトサレタ
理論理性コソガ Hegel = ヨツテ 思辨哲學ノ 大殿堂ガ
建設ハレル 広大ナル 地盤トナツタモノデアール。

Kant ノ 先驗的論理學ハ 外界ニ 存在スル事物即チ 現象
ヲ 認識スルタメノ 先驗的制約ヲ 求メタノニ 對シテ Hegel ノ
論理學ハ 精神其者ヲ 對象トシ 精神ヲ 動カシ 働カス所ノ 精神ノ
論理的本性ヲ 意識ニモタラスコトヲ 以テソノ 任務トシタ。精
神ノ 運動、ツマリ 概念ノ 内在的展開トナル所ノ 運動ガ 認識ノ
絶對的方法デアツテ、ソレヲ 明ラカニスルノガ Hegel ノ 論
理學トナツタワケデアール。

大論理學ノ 第二編ガ 「量」ノ 論理學デアツテ 数学ハ 無論
コソデ 取扱ハレテ居ル。

所ガ コソデ 取り扱ハレテ居ル 数学論ハ、ソレガ 本文ヨリ
モ遙カニ 膨大デアールニモカ、ハラズ、本文ノ 「註」トイフ如

何ニモ憐メテ継子ノ待遇ヲ受ケテ居ル。コノ継子扱ヒニ
Hegelノ數學ニ對スル極低價が實ニ露骨ニ表現サレテ居
ルノデアアル。

ツマリ、數學ハ Hegelノ論理學ノ体系内ニ入ル資格ヲ
モタナイノデアアル。何故カト言ヘバ論理學トハ概念ノ自己分
張ニヨル即チ外部カラ何物ヲモ導入シナイ展開デアアルノニ、教
學ハモトモト没概念的デアリ概念ニ對シテ外的ニモ、イダカ
ラデアアル。

Kantニヨツテ學ノ典型トサレ、ソシテ諸學ガ教學ヲ
含メベ含ムホド科學性ヲ増スト見ラレタ數學ハ Hegelニ
ヨツテ一転シテ學カラ尤モ遠イモノトサレ恰モ島流シノ憂目
ニ遇ツタカノ觀ガアル。

Kantニヨツテ蔑視サレタ思弁的思惟ハ Hegelニ
ヨツテ認識ノ玉座ニ据エラレ、而シテ Kantニヨツテ認識
ノ玉座ニ据エラレタ先天的直観ハ Hegelノ論理學デハ影
モ形モ消シテシマツテ居ル。

ノミナラズ Hegelハ若シモ教育ニ於テ没概念的没
思想的ナル數學ガ根本的ニ仕事トサレルナラバ、ソノ效果ハ
精神ノ内容及ビ形式ヲ共ニ空且ツ鈍ナルモノニスル以外ノ何
物ヲモナイトマテ論シテ居ル。

斯クノ如ク Hegelハ數學ヲ價值低イモノトシテ見テ
居ルガ、シカシソレハ決シテ數學ノ理解ノ不足カラ來ルコト
デハナクシテ寧ロ事實ハ反對ニ Hegelハ Kant以上
ニ數學ニツイテ深キ理解ヲモツテ居タトイフコトガ出來ル。

ソレハ言フマデモナク Kant ノ悟性哲學ヲ全面的ニ否
認シヨウトスルタメニハ Kant 以上ニ數學ニ對スル深キ
理解ヲ有タズシテハ不可能ナラデアル。ソコヲ吾々ハ數學
ヲ尊重スル哲學者ノ批判ノ中ニ見ラレス數學ノモウツノ邊
ヲ却ッテ數學ヲ蔑視スル哲學者ノ議論ノ中ニ見ルコトが出來
ルノデアアル。

(續ク。二月二日)